

1. 事業概要

・区間 岩手県釜石市甲子町～岩手県花巻市西宮野目

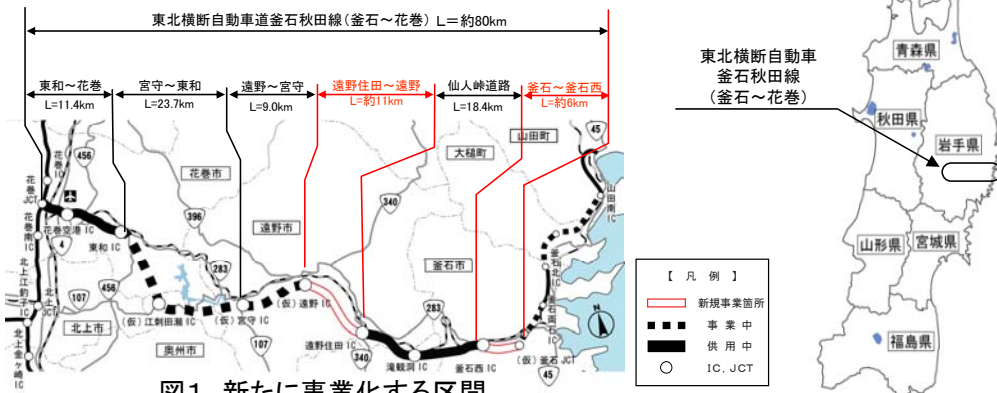


図1 新たに事業化する区間

経緯

- H23.7.22 : 東北横断自動車道が通る概ねの範囲の公表と意見募集
- H23.8.12 : 東北横断自動車道が通る概ねのルート及び出入口の位置の公表と意見募集
- H23.8.30 : 東北横断自動車道ルート決定公表

地域の要望等

- H23.6.29 : 岩手県知事より当該事業区間を含む東北横断自動車道釜石秋田線の早期開通を国土交通省に要望

2. 必要性の評価

(1) 課題の整理

- 防災・災害時の救助活動等
【救助・救援活動の支援】
【緊急物資の円滑な輸送の確保】

- ・被災地への救援・救助は縦軸(国道4号等)や後方支援拠点(遠野市)から横軸(国道283号等)により実施(図2・表1)
- ・(仮)釜石JCT～東和IC間は高規格幹線道路の未整備区間で、現道に交通が集中(図3)



図2 被災地支援・輸送ルート

- ・さらに、大震災後には、現道旅行速度が約3割低下するなど、幹線道路としての機能が低下(図4)
- ・このことは、被災地と内陸の強力な連携を推進し、早期救援・復旧・復興を図るうえで支障

表1 後方支援拠点集結状況

分野	名称	人員
警察	釜石警察	1,800
	花巻警察	30
	花巻署	35
	花巻署	150
	山形署	38
消防	釜石消防	38
	釜石消防	38
	釜石消防	88
	その他全国から	282
医療	大分緊急消防援助隊	500
	大分緊急消防援助隊	81
	大分緊急消防援助隊	112
その他	釜石医大チーム	35
	日本赤十字社	43
	岩手県立釜石医療センター	14
	その他全国から	11
電力	東北電力青森隊	100
電話	NTT	—
水道	福戸水道局	50
	その他全国から	135
	合計	3,522

※東日本大震災初動時に後方支援拠点(遠野市)に集結した組織と人数を表示

○住民生活

【救急医療施設への速達性向上】

- ・釜石地域の医療圏では心筋梗塞等、対応不可能な疾患があり、岩手医科大学付属病院などの盛岡市方面に約5割を搬送(図5)
- ・長い搬送時間や安定した搬送に不安を抱える状況(図6)

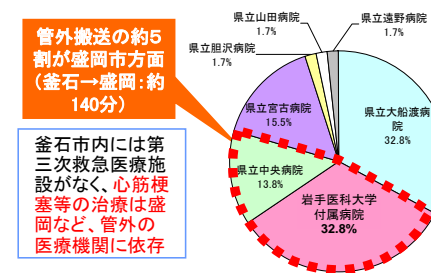


図5 釜石地域(釜石・大槌)における管外搬送の状況(H21)

○地域経済・地域社会

【周辺市町村との連携強化】

- ・現道区間は線形不良箇所などが連続し、釜石～花巻間などの連絡性が低く、地域間の連携に支障を来す恐れ
- [R<150m:21箇所・I≥5%:7箇所]

【産業拠点との連結性向上】

- ・大震災からの早期復旧・復興のための産業(線材製造等)の地域産業の再生が必要(図7)

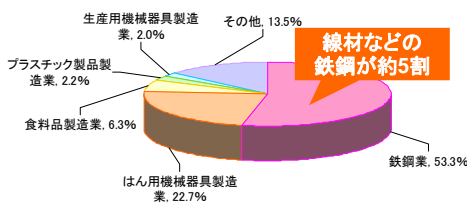


図7 釜石市の製造品出荷額内訳

(2) 事業の必要性

東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を促進することによる被災地の早期復興の支援、平常時も含めた救急搬送圏域の拡大による安全・安心を確保するため、高規格幹線道路ネットワークを形成し速達性を確保する本事業の実施が必要である。



図3 震災後(8/5)の現道状況(釜石～釜石西間)

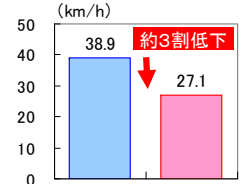


図4 現道旅行速度(日平均)の変化

現道区間に交通が集中
震災後 旅行速度が低下

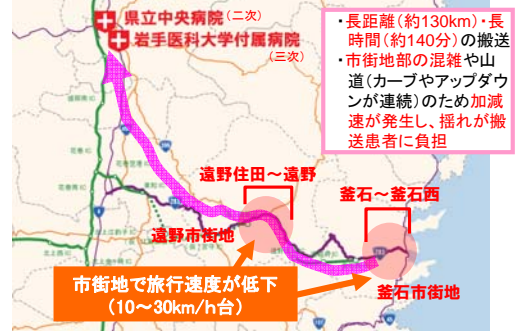


図6 救急搬送の問題点(釜石地域→盛岡方面)

東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)に係る新規事業採択時評価

かまいし はなまき

3. 有効性の評価

(1) ネットワーク上のリンクとしての防災面の効果

① 主要都市・拠点間の防災機能 【評価：◎】

● 釜石市～盛岡市の評価

現況	→	(目標) 整備後	評価
D	→	(B)	◎

	耐災害性	多重性
A	あり	あり
B	あり	-
C	なし	あり
D	なし	なし



図8 主要拠点間連携イメージ

・緊急輸送等の円滑化が可能となり、迅速な復旧活動や被災地域の復興を支援 (図11)

○ 住民生活 【評価：◎】

【救急医療施設への速達性向上】

・第三次医療施設である岩手医科大学付属病院への所要時間が短縮し、高規格幹線道路の利用が期待されるため、安定した搬送が可能に (図12)

[釜石～盛岡間：
約138分⇒約104分(約34分短縮)]



図11 復旧・復興支援に資するネットワーク強化

② ネットワーク全体の防災機能 【評価：◎】

・災害時における、当該リンク周辺の市町村から、県庁所在地(盛岡市)や隣接市町村等までの、通常時と災害時の到達時間の遅れの程度(弱点度)及び改善の程度

区間	弱点度(整備前)	弱点度(整備後)	改善度
遠野住田～遠野 釜石～釜石西 (釜石～大船渡)	通常時に比べ1.6倍の時間を所要	通常時に比べ1.3倍の時間を所要	整備前後で所要時間が0.8倍に短縮

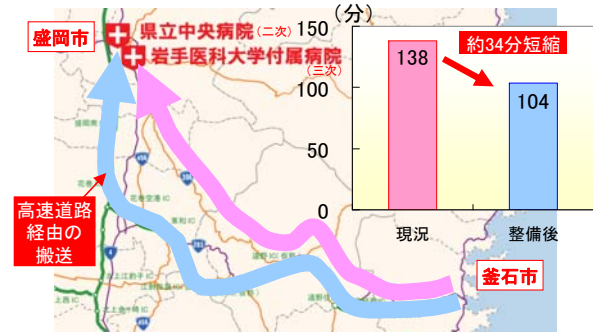


図12 所要時間変化 (釜石～岩手医科大学付属病院)

○ 地域経済・地域社会 【評価：◎】

【周辺市町村との連携の強化】
【産業拠点の分断防止】

・急カーブ箇所および急勾配区間の回避により、走行性・安全性が向上
・高規格幹線道路ネットワークが形成され、釜石市～盛岡市間等の規制速度が改善し、各地域の広域的な連携や、産業に必要な流通強化を期待 [規制速度：約20km/h向上]

(3) 事業の有効性

・当該事業の実施により、ネットワーク上のリンクの評価がDランク→Bランクに改善し、防災機能が強化される。
・さらに、速達性が向上し、「くしの歯」作戦に象徴される太平洋沿岸と内陸部を結ぶ横断軸の強化が図られ、東北地方全体のリダンダンシーの向上につながるなど、地域の課題を解消するために有効な事業である。

4. 事業化する区間の延長、構造規格等

区間	概略延長(km)	構造規格	設計速度(km/h)	事業費(億円)	B/C	
遠野住田～遠野	11	1種3級	80	310	1.8	2.4
釜石～釜石西	6			200	1.3	(釜石～花巻)

(2) 当該事業による効果

○ 防災・災害時の救助活動等 【評価：◎】

【救助・救援活動の支援】
【緊急物資の円滑な輸送の確保】

・沿岸部と災害後方支援拠点(図9・10)や内陸部を結ぶ横断軸が強化され、釜石市～遠野市～花巻市間における連絡時間を短縮

[釜石～花巻間：約103分⇒約69分
(約34分短縮)]



図9 災害後方支援拠点(遠野運動公園)

◆ 派遣人数	延べ約5,900人	(H23年3月～8月実績)
◆ 救援物資	水飲料 15.6万本	
	おにぎり 14万個	
	衣類 12.5万着	等

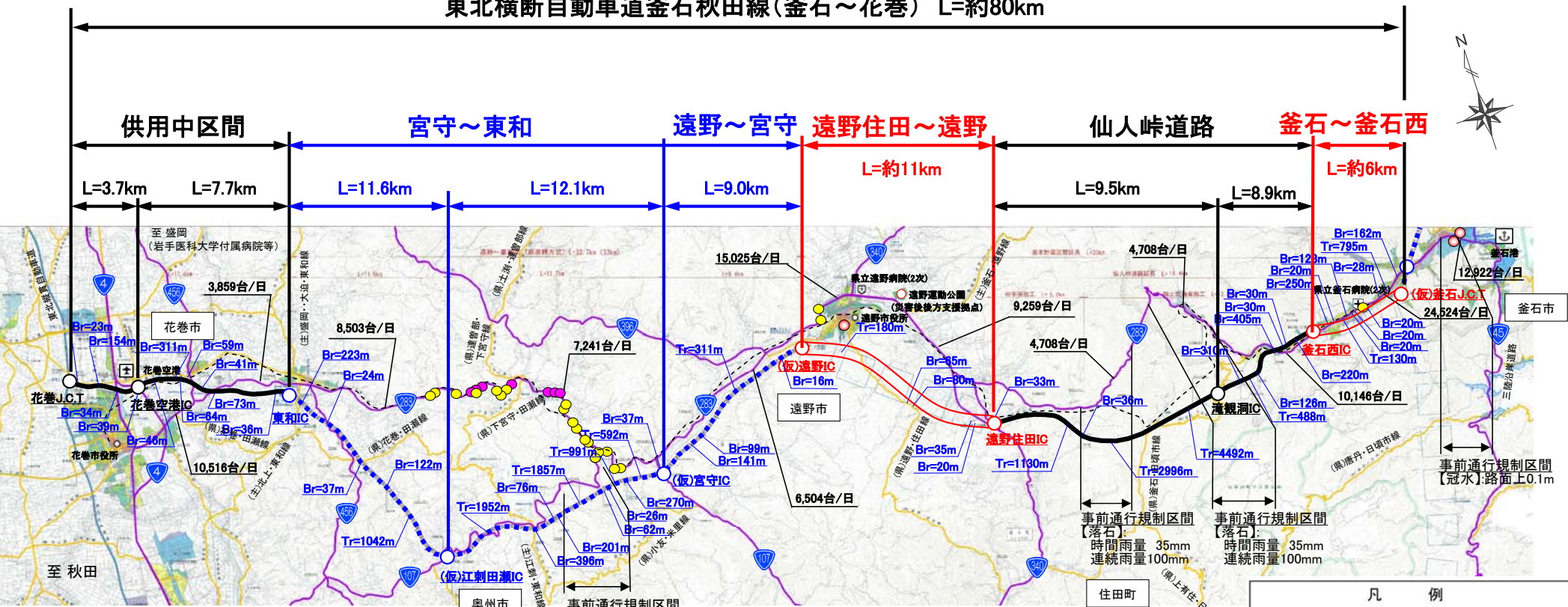
図10 後方支援の状況 (遠野市)

東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)に係る新規事業採択時評価

かまいし はなまき

【平面図】

東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻) L=約80km



凡 例	
	供用中区间
	東北横断自動車道 釜石秋田線
	事業中区间 新規事業箇所
	国道
	主要地方道・県道
	JR
	混雑多発箇所
	線形不良箇所 (R≤150m)
	急勾配箇所 (I>5%)
	津波浸水区域 H23. 3. 11 (東北地方太平洋沖地震)